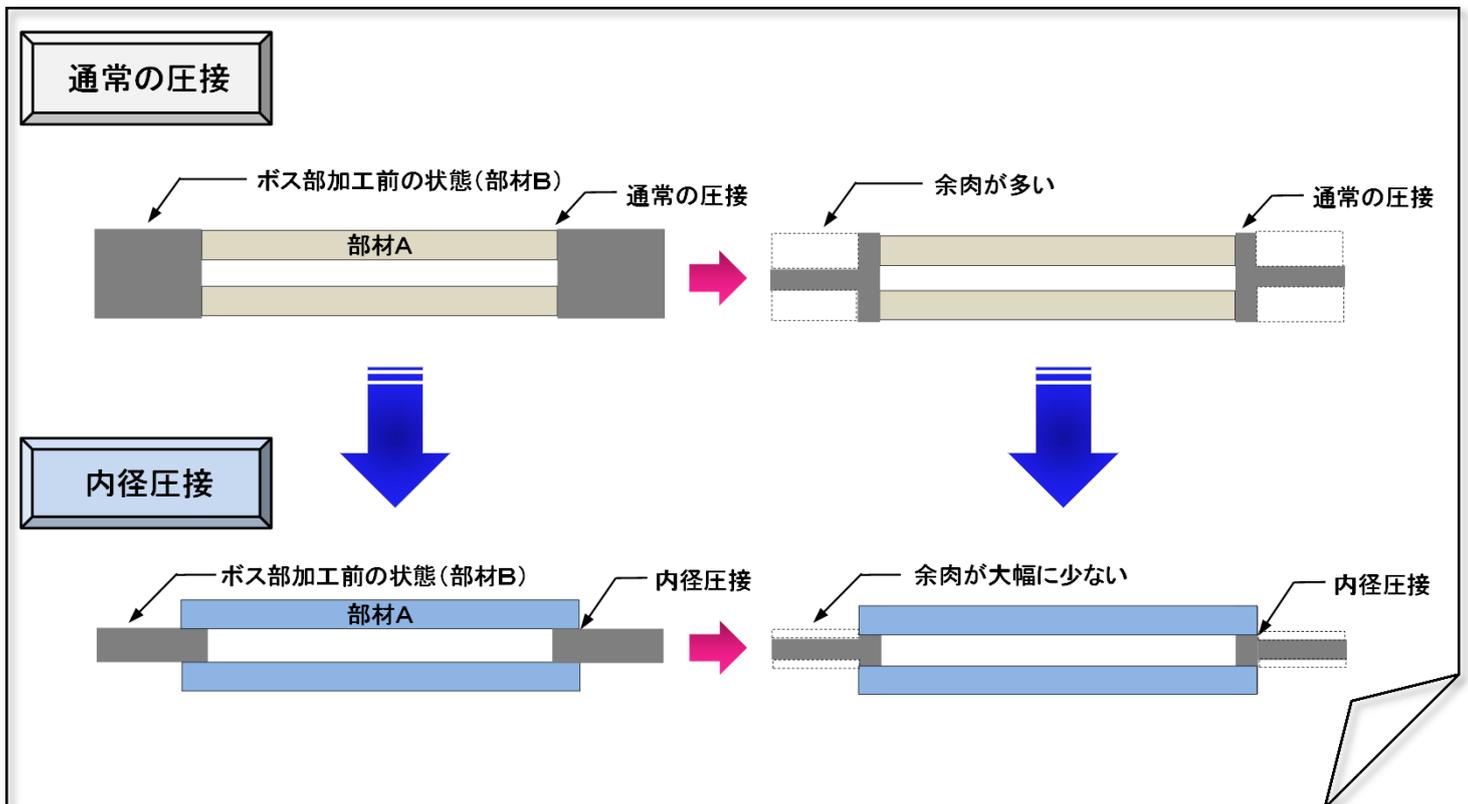


新工法『内径圧接』により 更なる大幅なCDを実現

旋削工数と材料費の大幅削減

同材質・異材質問わず、通常圧接できるものは、すべて対応可能



【メリット～使用及び応用～】

- ①余肉量が大幅に低減される為、材料費を安くする事が出来る
- ②余肉量が大幅に低減される為、切削工数を少なくする事が出来る
- ③同材質・異種材質を問わず通常摩擦圧接できる物は全て対応出来る
- ④部材Aが中実であれば、接合部分をくり貫いてパイプ状にすれば対応出来る
- ⑤部材Bが中空でも対応出来る
- ⑥部材Aをオス側、部材Bをメス側としても対応出来る
- ⑦OA機器用ローラー以外でも内径圧接工法が応用できれば他業種の製品でも 対応出来る